



受付第01A3046号
受付日：平成14年 2月19日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 タ ナ カ 住宅資材事業部

茨城県新治郡新治村大畑702-1

試験名称 木造建築用接合金物の性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

平成14年 4月12日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

品質性能試験報告書

試験名称	木造建築用接合金物の性能試験									
依頼者	株式会社タナカ住宅資材事業部									
試験項目	柱脚仕口において、土台側に床合板を介して接合した接合金物の引張									
試験体 (依頼者提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：スリムプレート 用途：柱脚の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：図-3参照 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具 柱側木ねじ(TB-65)：4-φ5.5×65mm，材質：SWCH 22K (JIS G 3539)，表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 土台側木ねじ(TB-100)：4-φ5.5×100mm，材質：SWCH 22K，表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2</p> <p>3. 使用軸組等 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；10.0～12.1%，密度；0.45～0.48g/cm³ 土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；10.4～12.3%，密度；0.41～0.46g/cm³ 床合板：構造用合板(JAS 1類2級)，厚さ35mm</p> <p>4. 試験体数7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>									
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2.「平成12告示1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。									
試験結果	試験体		降伏耐力時		2/3Pmax時		最大荷重時		破壊状況	
	記号	番号	加力方法	(Py) kN	(δy) mm	荷重 kN	変位 mm	(Pmax) kN		(δmax) mm
	SP	0	単調	9.8	2.0	12.3	3.1	18.4	10.4	土台側木ねじの抜け
		1	一方向 繰返し	10.9	5.0	14.2	8.1	21.3	23.9	木ねじ側面で柱の支圧破壊
		2		10.4	4.4	14.0	8.0	21.0	24.0	木ねじ側面で柱の支圧破壊
		3		9.5	2.6	12.6	5.2	18.9	18.0	木ねじ側面で柱の支圧破壊
		4		9.4	3.3	11.9	5.4	17.9	15.2	土台側木ねじの抜け
		5		9.8	4.3	12.3	6.7	18.5	19.5	土台側木ねじの抜け
		6		9.2	1.9	11.3	3.1	16.9	18.3	土台側木ねじの抜け
	平均	—	9.9	3.6	12.7	6.1	19.1	19.8	—	
標準偏差		0.66	1.19	1.16	1.91	1.74	3.50			
変動係数		0.067	—	0.091	—	—	—			
ばらつき係数		0.843		0.787						
短期基準接合引張耐力(Pot)kN		8.3	—	10.0	—	—	—	—		
<p>(注) 短期基準接合引張耐力(Pot)は，降伏耐力Py又は2/3Pmaxの平均値に，それぞれのばらつき係数を乗じて算出した値のうち小さい方とし，8.3 に示した値である。</p> <p>参照：図-5（荷重-変位包絡線の比較） 図-6（荷重-変位曲線，包絡線及び完全弾塑性モデル） 写真-1～写真-6（破壊状況）</p>										
試験期間	平成14年 2月22日									
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 修 試験実施者 室星 啓 和， 守屋 嘉 晃									
試験場所	中央試験所									